

平成 26 年度 予算施策評価表

様式 1

施策名	多様な交通体系の整備・充実			予算施策コード	kj05	
担当部局名	企画振興部 地域振興局	交通対策課	評価責任者	課長 馬越 史朗	連絡先	3285

1 施策の内容

施策の目標	公共交通機関等を整備・充実することにより、すべての県民の利便性を向上させる。
これまでの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 松山市駅のバリアフリー化、ノンステップバス及び低床式路面電車の導入、JR松山駅、今治駅へのエレベーターの新設、バスロケーションシステムの整備、交通需要マネジメント実証実験などに対する支援、県HP上への「えひめの公共交通ナビ」の作成等を行い県内における快適で安心な公共交通機関の整備や利便性の向上を図ってきた。 国、県及び市町が一体となって離島航路の運航欠損に対する補助を実施し、離島地域における生活航路の維持・確保を図ってきた。 昨今の社会経済環境の変化や高速道路料金政策などの影響により、地域公共交通の存続が危ぶまれていることから、県民の暮らしに欠かせない地域交通を地域をあげて維持・確保するため、行政・交通事業者・住民などからなる「地域交通活性化推進会議」を22年度に立ち上げるとともに、県地域公共交通活性化指針を策定(24年度)し、周知に努めた。 松山空港の安全確保を図るため滑走路や誘導路等の改修工事を行った。 松山空港の利用促進を図るため官民一体となって利用促進に取り組む一方、空港周辺地域住民への環境対策にも取り組んだ。

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)					
A	愛媛発着の旅客流動数	B	県内の主な公共交通機関の年間輸送人員(鉄道・軌道・一般乗合旅客自動車の合計)	成果と指標の関係	強
選択理由	広域的な交通ネットワークの充実・強化度合いを把握するのに適した指標である	選択理由	県全体での公共交通機能の充実・強化度合いを把握するのに適した指標である。	成果と指標の関係	強
算定方法	国土交通省の旅客流動調査で把握	算定方法	下記の資料に基づくデータを端数処理して合計 鉄道のうちJR四国: 県内の駅の乗車人員を聞き取り その他: 四国運輸局業務要覧	指標の種類	フロー
成果と指標の関係	強	指標の種類	フロー	成果と指標の関係	強
	指標の種類	フロー		指標の種類	フロー

指標・事業費の推移										
区分	成果指標A			成果指標B			事業費			
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算	国費	その他	県費
単位	百万人		%	千人		%	千円			
24年度	70	75	107.1%	42,045	41,989	99.9%	1,015,602	0	26,401	989,201
25年度	75		実績無	41,989	41,840	99.6%	973,601	0	15,900	957,701
26年度				41,840		実績無	755,254	0	25,304	729,950
27年度 目標値				41,840						
最終目標										

2 施策の評価

県の関与の必要性	高い	説明	大都市圏に比べ輸送密度が低い本県では、多様な交通体系の維持・充実の役割の多くを事業者の自助努力や市場原理に委ねることは困難であり、行政の関与の必要性が高い。 また、交通のネットワークは単一市町内で完結するものもあれば、市町や県をまたがるものなど多様であり、県は国、市町、交通事業者との適切な役割分担のもと交通体系の総合的な整備等に関与する必要がある。						
成果指標A			説明	愛媛発着の旅客流動数については、国の高速道路料金施策(休日上限制限や無料化社会実験)の影響や、これまでの景気の低迷等により、公共交通利用者が減少傾向にある交通モードもあるが、全機関(鉄道、航路、航空路、バス等)利用者としては(H22→H23)において微増している。 なお、平成26年4月から本四高速道路の平日料金が値下げされており、その影響を注視する必要がある。					
成果動向	ある程度向上可能	説明		県内の主な公共交通機関の年間輸送人員については、愛媛県内は国の政策により実施された高速道路の休日上限1,000円(平成21年3月～23年6月)や、無料化社会実験(平成22年6月～23年6月)等により自家用車へのシフトが進み、加えて人口減少により利用者自体も減少していることから、公共交通の利用者数は緩やかに減少している。					
成果向上余地			ある程度向上可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	-	この欄は、成果動向評価後に表示されます。		成果向上余地	0.00	ほとんどない		

今後予測される環境変化	
-------------	--

